

## 平成28年度事業報告

平成28年度は、当年度よりスタートした「第2次中期計画」（平成28年度～30年度）にもとづき事業を実施しました。

中期計画の数値目標である「会員数1,320名」については、新規入会会員数の増加もあり前年度より会員数は増え1,238名になりましたが目標には届きませんでした。

もうひとつの数値目標である「契約金額5億5,730万円」については、前年度に比べ請負事業、派遣事業ともに増加し、5億5,692万5,178円と目標契約金額の99.9%に達しました。

契約金額の内訳をみると、一般家庭からの受注は減りましたが、民間企業および公共からの受注が増加し、前年度を上回る契約金額となりました。また、昨年よりスタートした「派遣事業」と「介護予防及び総合事業」についても着実に就業会員数を増やし、契約金額の増加につながりました。

数値目標を実現するための「会員主体の組織の活性化と機能強化」についても、地域班活動、委員会活動、職能グループ活動などを通じて、取り組みました。

以下、事業計画の項目に沿って実績を報告します。

## 事業実施状況

### 1 会員の拡充と質的向上

目標会員数 1, 320名

新規入会会員数は232名と前年度に比べ32名増加し、年度末の会員数も18名増え1,238名となりましたが、目標の1,320名には達しませんでした。

- (1) 広報委員会が作成したチラシを、コミュニティーセンターや市内一般家庭に会員が自主的に配布し、新規会員の加入増加や就業先の拡大につながりました。
- (2) 地域班を通じ会員による会員勧誘活動が行われ、33名の新規会員が入会しました。
- (3) 広報委員会の編集した広報紙を年3回発行し、会員に対し連絡事項掲載、会員の投稿掲載、センター行事の報告等の情報提供を行いました。
- (4) 市内を運行する京急バス20台分の車内広告掲出、市内配布のフリーペーパーへ6回の広告を出稿しました。
- (5) センターのPRを目的に、「ふれあいフェスティバル」「よこすか産業まつり」「ひくてあまたプロジェクト(生涯現役フォーラム)」「まなびかんまつり」へ出展したほか「第2回文化展」を開催し、市民が多数来場し、新規会員の加入増加や就業先の拡大につながりました。
- (6) 入会説明会を11回開催し、新たな取組みとして現会員にセンターでの体験談を紹介してもらい、会員活動の理解を促進しました。
- (7) 会員の知識・技術の向上を目的に、「植木剪定(初級・中級)」「除草講習(2回)」「刈払機安全取扱」「チェーンソー安全取扱」「ハウスクリーニング(2回)」「訪問介護研修(3回)」「普通救命」「適正就業ガイドライン(4回)」の各講習会を開催し、計329名の会員が受講しました。また、高齢者の交通安全講演会も開催し、64名の会員が参加しました。
- (8) 新入会員を対象に「入会研修会」を実施し、就業時の接遇等について研修を行いました。
- (9) センター入会前にセンター業務を体験する「シルバー業務の入会前体験」を実施しました。また、定年退職後のライフスタイルについて情報提供を行う「50歳以上の市民へのセカンドキャリア情報提供」について調査を進めました。
- (10) 会員対象の福利厚生サービスとしてポイント制度および会員の表彰規程を制定しました。
- (11) 女性会員の親睦を深める「女性会員のお茶会」を実施し、「クリスマス会」の開催や「文化展」での企画など女性会員の活動が広がりました。また女性の就業について

て考える「女性会員お仕事プロジェクト」もスタートしました。

## 2 契約金額の拡大

**目標契約金額 5億5,730万円**

前年度に比べ請負事業、派遣事業ともに増加し、5億5,692万5,178円と目標契約金額の99.9%に達しました。また、就業率は75.9%となり前年度の75.6%を上回りました。

- (1) 昨年度より取り組んだ派遣事業について、新たに3事業所からの受注を開拓し就業実績の増加につながりました。
- (2) 従来からの請負就業について、就業開拓委員会を中心に、会員・役員・職員が新たな就業先を探し就業実績を拡大しました。
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業について就業実績を拡大しました。
- (4) 前頁1にある広報活動により就業実績を拡大しました。
- (5) 前頁1にあるイベント出展等により就業実績を拡大しました。
- (6) 新たな就業先の開拓に向け、訪問介護事業委員会と就業開拓委員会により学童保育でのメニューの紹介およびニーズ調査を行いました。
- (7) 横須賀市が設置した「高年齢者生活支援体制整備推進会議」(協議体)に参加し、総合事業について意見交換しました。

## 3 会員主体の組織の活性化と機能強化

- (1) 第2次中期計画に基づき、会員を中心に構成される各委員会が課題に取り組みました。また全委員が参加する「委員会大会」を開催し、各委員会が中期計画の進捗状況を発表し委員間の情報を共有しました。
- (2) 職能グループ活動の推進に取り組み、剪定・除草グループは21グループ173名(昨年度は168名)が就業しました。ハウスクリーニンググループでは15名が就業しました。お片づけグループでは9名の会員が就業しました。
- (3) 各地域班では、会員が自主的に会員勧誘や就業機会の拡大に取り組みました。また、親睦活動やボランティア活動にも取り組みました。
- (4) 班長会が中心となり「第2回文化展」を開催しました。51名の会員による207点の作品と協力いただいた横須賀・三浦障害者作業所連絡会の作品114点を展示。第1回を上回る530名が来場し、センターのPRと会員間の親睦を深めるイベントとなりました。
- (5) 班長会を中心とした日帰りバス旅行には86名の会員が参加しました。また、親睦歩こう会には45名の会員が参加しました。

#### 4 会員の安全就業の推進と健康の維持向上

- (1) 「安全就労推進計画」を策定しました。
- (2) 7月・8月に地域安全対策推進員巡回パトロールを6日間実施し、61カ所を巡回しました。
- (3) 会員に対する健康診断の奨励として健康診断費用の一部を補助し、49名の会員が健康診断を受診しました。
- (4) 安全標語の募集を行い、18名の会員から68点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選考し、広報紙に掲載するとともに、事務所に掲示しました。
- (5) 安全パトロール員による巡回パトロールを実施し、5月から12月の期間に352か所の就業場所をパトロールした結果、ヘルメット装着率は93%となりました。
- (6) 「安全就業基準」を新入会員に配付しました。
- (7) 安全就業促進のためヘルメットと安全帯の購入補助を行いました。
- (8) 高齢者の交通安全講演会を開催し64名の会員が参加しました。

#### 5 地域への貢献

- (1) 活力、生きがい増進の促進として市内高齢者を対象としたゲートボール大会、ボウリング大会を協賛しました。
- (2) 地域班活動として、11地域班は清掃活動、通学路の安全パトロール、資源物の収集等のボランティア活動を行ったほか、親睦活動を行いました。
- (3) 県内シルバー人材センターの取組として、シルバー月間に一斉美化活動を実施。当センターは汐入駅前清掃活動を行い、18名のボランティア会員が参加しました。